

癌（がん）検診をいつまで受けるべきか？

癌検診の目的は、日本人の死因の第1位である癌を早期発見し、癌による死亡率を下げることです。

肺癌・胃癌・大腸癌・子宮頸癌・乳癌の5つの癌については、検診の有効性が認められており、厚生労働省がこれらの癌検診を推奨しています。

高齢者の方々の健康状態には個人差が大きいため、癌検診をいつまで受けるべきか、については様々な意見があります。

一般的には次の2点を満たす間は受けた方が良いでしょう。



「要精密検査となった時に検査を受ける気力・体力がある」

「癌などの病気が見つかった時に治療を受ける気力・体力がある」

診療所ホームページはこちら ▶

診療所だよりのバックナンバーや診療所からのお知らせ等を掲載しておりますので是非ご覧ください。

▶ <https://aito-clinic.com/>



故事・ことわざで脳トレ！

- ① ゆきすぎは足りないのと同じであるということ
..... ○○○○は猶○○○○が如し
- ② 自分の腕前を広く世間に見せる晴れの場所 ○舞台
- ③ できる限りの努力をして、あとは運にまかせること
..... ○○を尽くして○○を待つ
- ④ 誰もなし遂げたことのないことを初めて行うこと ○天○

故事・ことわざで脳トレ！の答え

- ① 過ぎたるは猶（なお）及（およ）ばざるが如し
中庸の大切さを教えた孔子の言葉
- ② 檜（ひのき）舞台
- ③ 人事を尽くして天命を待つ
- ④ 破天荒（はてんこう）
類義語：前人未踏、前代未聞、空前絶後、未曾有（みぞう）
注意：「豪快で大胆」「型破りで常識にとらわれない」の意味で使うのは間違い

編集後記

BIWAKO アクリルキーホルダーが県内で大流行しています。そのうちに落ち着くだろうと思っていましたが、どんどん新作が出されて流行が去りません。

並ばずに手に入るのはいつかなあと、気長に待つことにします。（M.J.）